

湖東普及だより

令和6年
夏号

編集発行

滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：徳田 裕二）

（湖東農業普及指導センター）

〒522-0071 彦根市元町4番1号

TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp

Facebook アドレス：https://www.facebook.com/hukyuudayori.kotou

Facebook ページ2次元コードはこちら→



リアトリスを作ってみませんか！

リアトリスとは

リアトリス(キク科)は、花の形からヤリアザミの別名で親しまれ、季咲きでは6月下旬から7月上旬にかけて紫色の花を咲かせます。湖東地域では、30年近い栽培の歴史があります。生産調整品目として愛荘町で栽培が始まり、現在は湖東全域に広がっており、主に関西地方の花き卸売市場へ出荷されています。

他の切花類と比較すると、防除回数が少なく労力が少ないことや、毎年前作の球根を分球して増殖、栽培が可能のため、低コストで栽培できることも魅力の一つです。

栽培は、10月末から11月上旬に掘り起こして乾かした球根を11月中下旬には場に定植し、早出し栽培では2月下旬から4月下旬までビニルトンネルで被覆します。出荷時期は、早出し栽培では6月中下旬、普通栽培では6月下旬から7月上旬となります。



月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
旬	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
作型	▽	○	—	—	—	—	—	—	□ □	早出し
		▽	○	—	—	—	—	—	□	□ 普通

凡例：▽株掘り起こし、○定植、∩トンネル被覆、□収穫

新規栽培者を募集しています！

湖東地域では年々、リアトリス栽培に取り組む生産者が増え、現在8戸となっています。滋賀県産は他産地と比べてボリュームがあり品質も高いことから、市場からより一層の出荷量の増加を求められています。親株（球根）は1a（畝長70m）当たり1,000～1,200株必要ですが、JA東びわこ花き部会への加入により、球根（親株）の購入や出荷でのメリットがあります。

ぜひ、一度リアトリスを栽培してみませんか？

栽培を希望される方は湖東農産普及課やJA東びわこ本店にお問い合わせください！

『いいところ みんなちがう だからいい』 佐和山小学校3年 中村 結衣さん

彦根市「はーとふるメッセージ2023」入選作品

「地域計画」の策定に向けて

管内での取組状況は？

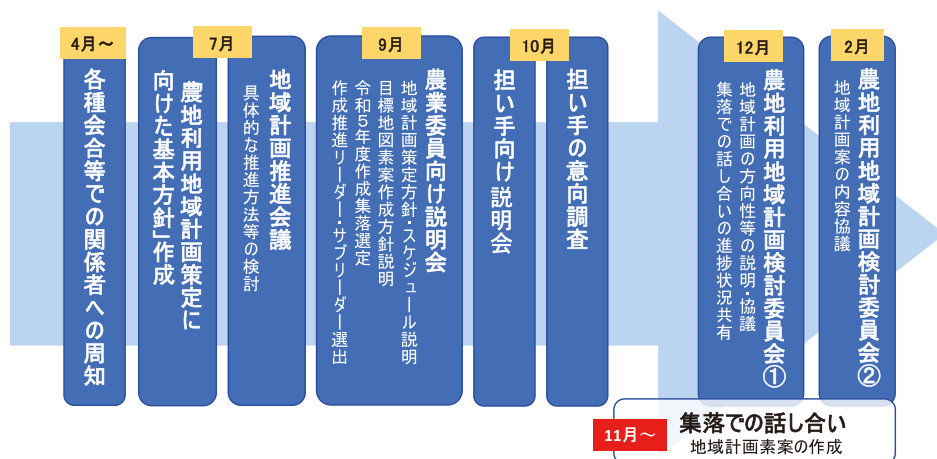
令和5年4月に農業経営基盤強化促進法が改正され、これまで作成されていた「人・農地プラン」に代わり、将来の農地利用の姿を明確化した「地域計画」を策定することが義務付けられました。現在市町では、地域計画の策定に向け、地域農業や担い手の状況、人・農地プランの作成状況等の実情に応じ

- ・「推進会議」の開催による、地域計画策定に向けた具体的な方策等の検討
 - ・「協議の場」の設置による、地域計画策定の方向性の説明や、地域計画案の内容の協議
 - ・地域の担い手、農業委員、農業組合長等を対象とした説明会の開催
 - ・アンケートによる、将来の営農に対する担い手の皆様の意向把握
 - ・集落の話し合いによる、将来の農地利用を示した「目標地図」素案の作成
- 等が進められています。

彦根市で地域計画（田原町）が策定されました

彦根市では、以下の手順で取組を進められ、令和6年3月、管内第1号となる地域計画を策定されました。

農業委員および農地利用最適化推進委員での検討により、優先的に策定を進める集落を選定し、農業委員等自らが作成リーダーとなって、順次、集落ごとの話し合いや素案作成が進められています。



当課では、管内 176 集落で地域計画が策定できるよう、関係機関と連携し、推進会議や協議の場への参画と助言、説明会や集落の話し合いへの参加を通じて支援しています。地域計画は、原則、市街化地域を除く全ての地域での策定が義務付けられており、令和6年度中に地域の話し合いや意向に基づいて策定する必要があります。令和7年度以降も策定することはできますが、地域計画が策定されるまでの間、関連補助事業を受けられなくなる可能性があります。

各集落で地域計画が策定できるよう、農地・農業に関わる全ての皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。

土づくりによる水稻の安定生産！

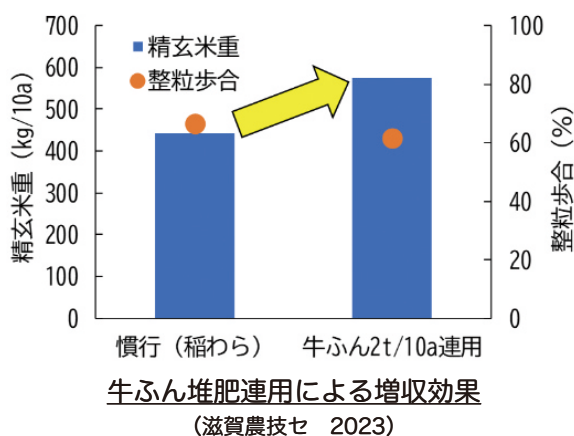
有機物を積極的に投入し土づくりをしましょう！

気温の上昇や水田における麦類・大豆等の畑作物の作付頻度の増加等により、土壌中の有機物の分解が進み、地力が低下しています。

水田の地力を維持するためには、水稻、麦類、大豆等の収穫残さを燃やさずにすき込むことが基本です。加えて、家畜ふん堆肥等有機物を継続的に投入することで地力が向上し、猛暑年においても水稻の安定生産につながります。

湖東地域では令和4年度から牛ふんペレット堆肥の実証に取り組み、地力向上による化学肥料の使用量低減効果や作業性等について調査を行っています。ペレット化した家畜ふん堆肥を活用すると、ブロードキャストで省力的に散布でき、散布時の粉じんや臭いも軽減できます。

県内の家畜ふん堆肥に関する情報はこちら→



牛ふんペレット堆肥の散布

令和5年度中日農業賞表彰・優秀賞

ひきだ 正田 翔悟氏（彦根市三津屋町）が受賞！

地域でいち早く土地利用型を中心とした施設園芸との複合経営に転換し、効率的かつ安定した経営を実現されるとともに、地域の中心的な若手農業者として、次世代農業をけん引する存在として活躍されています。

また、施設で軟弱野菜を栽培することで地域雇用の拡大と働きやすい環境の整備、地元学生と共に学び共に育つ「プロジェクト型インターンシップ」活動の実施など、地域に根ざした農業に取り組まれました。併せて、食品ロスの削減に向け、コマツナ、ホウレンソウの規格外野菜の有効活用に向けた取組を学生と行う等、農業を通じて学習する場を提供されています。

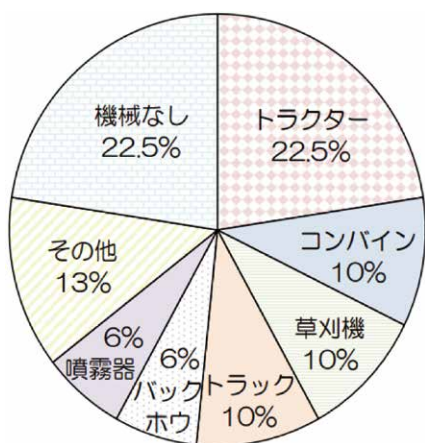
このような功績が認められ、この度の受賞となりました。今後の更なる御活躍が期待されます。



農作業安全対策を実施しましょう！

令和5年の滋賀県内での農作業事故は31件発生し、うち1件は死亡事故でした。機械別では、トラクターによる事故が最多でした。農業は、就業者10万人あたりの死亡事故者数が建設業の約2倍であり、非常に危険な産業です。これは、農業では十分な安全対策が実施されていないことが要因です。

下記の「農作業安全チェックリスト」を参考に、いま一度普段の農作業を振り返り、農作業安全対策を実施しましょう。



機械別事故発生割合 (R5)

農作業安全チェックリスト

- 定期的に休憩をとり、無理のない作業計画をたてる
- 動きやすい服装で、袖口や裾が締まった服装を身に付ける
- 履物は、滑りにくい靴やスパイク付きのものを身に付ける
- こまめに水分補給を行うなど、熱中症に注意する
- 機械に乗り降りする際はエンジンを止める
- 万一の事態に備え、携帯電話を身に付ける
- 段差やほ場の端などに寄りすぎないようにする

農業大学校で農業を学びませんか！



滋賀県立農業大学校（専修学校）では、本県農業を担う優れた青年農業者等を養成する「養成科」と、就農に向けて必要な技術と知識を修得する「就農科」があります。

オープンキャンパスの開催等について、詳しくは同校教務担当（0748-46-2551）または湖東農産普及課までお問い合わせください。また、就農科を希望される方は、願書受付開始までに、必ず就農予定地を所管している農産普及課に御相談ください。

各科の願書受付期日

	養成科(2年間)		就農科(1年間)
	推薦入試	一般入試(一次※)	選考(一次※)
募集人数	20名程度	10名程度	15名
願書 受付期間	令和6年10月4日(金) ～10月17日(木) 必着	令和6年11月22日(金) ～12月4日(水) 必着	令和6年10月28日(月) ～11月15日(金)必着
応募資格	滋賀県内に在住で、令和7年3月に高等学校卒業見込みの者で成績優秀であり、人物および健康に優れている者	高等学校を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者等	20歳以上65歳未満 <u>修了後、県内で農業経営を行うことが確実な者等</u>

※定員に達しない場合、二次募集あり

この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。